



# こうじまさかず

・“あるさとちば”のための政策推進を・

# 小路正和県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

# 外房線の利便性向上を

**小路議員** 外房地域の基幹的な鉄道であるJR外房線の果たすべき役割は極めて多きく、外房線全体の運行本数の増加など、より一層の利便性の向上に取り組んでいく必要がある。

地域の足として、外房線の利便性の維持・向上が重要であると考えています。

このため、県では、毎年、千葉県JR線複線化等促進期成同盟において、沿線市町村とともに要望活動を行っており、外房線についても運行本数の維持や障害者高齢者への配慮などをJRに対しても要望しております。

今後も、JRに対する要望活動を通じて、外房線の利便性の向上などに努めて

**要望** 小路議員 令和6年3月のダイヤ改正で、通勤快速6・25勝浦駅発が廃止され、普通と特急が新設された。特急は全席指定席で、料金が必要で、活用が難しい。従って、通勤快速6・25勝浦駅発の復活を要望する。

また、普通6・37勝浦駅発が6・18同駅発に改正され、早い時間に移つてしま

**教員の角**

小路議員 大原高校に寄  
を設置すべきと思うが、どう  
ような課題があるのか。

教育長 県立高校改革推  
進プランでは、水産系の学科  
について、より柔軟な生徒収  
集を検討することとしてお  
り、県教育委員会では、昨年  
度、寮や下宿などの生徒収  
入体制に係る全国調査を実  
施しました。

**宿泊施設等の設置や運営に関する課題**

課題の対応策等を含め、地元自治体と連携しながら、生徒の居住環境の在り方について検討してまいります。

## 6月定期県議会一般質問



東隣郡市に関する施策を質問する小路正和議員

小路正和県議は、地元夷隅郡市の振興に全力を挙げています。6月定例県議会では登壇して、夷隅地域4市町が抱える課題解決にむけた取り組みについて、県執行部に聞きました。なかでも、外房地区の地域振興にはJR外房線の利便性維持・向上が欠かせないとして、県の考えを質問しました。また、近年、水揚げが振るわないすみ市の漁業について、復活への施策を尋ねました。小路県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

# 利用者のためのダイヤ編成要望

たため、快速7・15上総ノ宮駅発に乗り継ぎが出来なくなつた。従つて、快速7・15上総ノ宮駅発に接

続できる各駅停車の復活  
或いは、現在2両編成で運  
行している便に接続でき  
よう、強く要望する。

**再質問**

、  
あります。

**再質問** 小路議員 県は外房線上総一ノ宮駅以南の運行本数の維持や乗り継ぎの改善にどのように取り組むのか。

**要望** 小路議員 利用者が少ない路線や区間について、ダイヤの見直しだけを行なながら、都市部稼いだ分で赤字路線をまかなっているのが現状であるかもしません。

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

# 小路正和 県議事務所

〒298-0004  
千葉県いすみ市大原8654  
TEL・FAX 0470-62-5802



## 議場の自席で再質問する小路県議

# 水産のまち、いすみ市復活へ トラフグ種苗放流に期待

**小路議員** いすみ市は全国に誇ることがで  
きる「水産のまち」だと自負している。しか  
しながら、近年は、資源の減少や魚価の低迷、  
燃油価格の高止まりなどにより、漁業経営は  
大変、厳しい状況にある。

そこでうかがうが、  
地域の水産業振興にど  
のように取り組んでい  
るのか。

また、漁場環境の変化に加え、漁業を支える関連施設の老朽化が進むなど、今後の安定した漁業経営が危惧されている。

けるアユの漁獲量は、平成4年では17トンでしたが、近年は、河川流量の変化による漁場環境の悪化やカワウの食害などにより大きく落ち込んでおり、これに伴い遊漁者数も減少しています。

このため県では、種苗放流の効果を高めるため、夷隅川の天然アユを用いて、病気発生・生産に取り組むとともに、漁協が実施する種苗放流やカワウ食害防除対策への支援などをに行っているところです。

**小路議員** アユの遊漁振興について、県はどのように取り組んでいくのか。

資源管理の指導、干葉ブランド水産物の認定などを行い、現在も、漁港の水深確保のための浚渫を行うとともに、省コストで利便性の高い製氷・貯氷施設の整備への支援や、漁獲物の鮮度保持技術の指導など、ハーバー

ド・ソフト両面から支援しているところです。

す。  
引き続き、アユ種苗の  
定生産や食害対策などへ

# 増え続けるキヨン

**小路議員** 県は、キヨンの捕獲にどのように取り組んでいくのか。

**環境生活部長** 県では市町村等と連携してキヨン捕獲に取り組んでおり、令和4年度は全体で約8900頭を捕獲しましたが、推定生息数は依然として増加を続け、対策の更なる強化が必要と認識しています。

# 台湾原住民の 捕獲方法参考

支援のほか、産卵場づくり指導などを通じ、アユの遊振興を図ることで、漁協

**小路議員** 能登半島地元では、道路の寸断により孤島化

集落が発生し、救助や物資供給に支障が生じた。

# 災害発生で孤立の恐れ 夷隅地域の136集落

當の安定と地域の活性化  
つなげてまいります。

型のルアーを使用してア  
釣りを楽しむアユイング。  
いう釣りが、遊漁者の中  
人気が高まっているそ  
う。夷隅川では、この釣り

が許可されているとのことですので、アユの放流事業と合わせ、河川の環境や魚道の整備等も併せてお願ひしたい。

# 夷隅郡市4市町、人喰滅<sup>シテ</sup> 消滅可能性を危惧

における人口減少の地域格差について、県はどういうに考えてているのか。豊かな自然環境や農林水産物、観光資源など様々な特性や魅力を活かした地域活性化に向けた取り組みについて、半島性の強化を図ることとともに克服に向け交通ネットワークの強化を図ることも重要な課題である。

また、当該集落内において避難が可能な施設は48集落飲料水の備蓄は11集落食料の備蓄は4集落となり、災害時の孤立対策の強化を進めていく必要がある。

**小路議員** 民間団体の「人口戦略会議」が発表した「消滅可能性自治体」によると、県内22市町がこのまま人口減少が続けば、将来的に消滅する可能性が高いとされています。

ある夷隅郡市は4市町、ずれも「消滅可能性自治体」に含まれており、改めて人口減少問題について危機感抱いている。一方で、東京に接する地域では人口が増している自治体もある。

知事 人口減少は、住民の年齢構成や、産業の集積状況、就労場所、交通アクセス、生活利便性など、様々な要因が影響するものであります。県内でも、地域によって大きく状況が異なるものと認識しています。

今後も、これらの取組を  
さらに進めるとともに、千葉  
暮らすことの魅力発信や、移  
住・二地域居住の促進にこ  
り、様々な人を呼び込み、  
地域の活力の維持・向上に  
なげてまいります。

県では、孤立集落対策の新たな補助金を創設し、市町村が実施する備蓄の強化や避難施設の整備等の取組を支援することとしており、地元市町と連携して孤立集落対策に取り組んでまいります。